地域課題・ニーズシート

整理番号	D	団体名	山口県岩国市 環境政策課	検討の段階	■ 構想　□ 調査・検討 □ 事業化検討
取り組みたい分野		市営温水プールへの木質バイオマスの熱利用・発電の導入			
関連する地域課題		公共施設の老朽化・設備の更新時期／防災拠点の電源確保／地域の森林資源の活用			

①解決したい課題

市営温水プールの重油ボイラーに代わる熱源として、木質バイオマスのボイラー・発電の導入手法を知りたい

② 主に相談したいこと（提案先の指定にはこの課題番号をお使いください）

課題番号	相談したいこと	求めている情報・提案の例
D－1	**ボイラー・小規模発電の導入方法**	温水プールの熱需要に合った設備の種類・規模の選び方（熱電併給）、費用の目安、調査から計画・設計・工事までの進め方と事例
D－2	**燃料（木質チップ等）の安定的な調達**	市内の森林組合等と連携した燃料の供給体制の作り方、必要な量の確保、チップの受入れ・保管の方法
D－3	**電力・熱の周辺施設での活用**	避難所に指定された隣接公共施設への電力供給（災害時を含む）、周辺地域への供給の可能性
D－4	**運営・維持管理の方法**	市の直営、指定管理者への委託、熱等を購入する方式など、運営方法の選択肢と、それぞれの費用・役割分担
D－5	**庁内の検討を進めるための支援**	国の補助制度の活用方法、施設を所管する部署を含めた庁内向けの勉強会の開催など、検討を後押しする取組

上記に限らず、課題の解決につながるご提案を幅広く歓迎します。

③想定される連携先の例（これに限りません）

木質バイオマスボイラー・小型発電設備のメーカー／設計・施工事業者／木質チップ等の燃料の製造・供給事業者／熱供給・エネルギーサービス（設備の運営・維持管理）の事業者／導入可能性調査・計画づくりを支援する事業者／金融機関

④ 検討の状況・留意事項

・構想段階であり、具体的な事業の内容・予算・時期は未定です。国の補助制度の活用を想定しています
・市にバイオマス導入の知見がないため、どのような手法があるかの情報収集から始めたいと考えています
・隣接する避難所への電力供給のため、小規模でも発電できることが望ましいと考えています
・施設の所管部署と一緒に検討を進めるため、庁内向けの勉強会など、検討を後押しする提案も歓迎します

⑤背景・現状

・市営温水プールは、ごみ焼却施設の余熱を利用する施設として設置されたが、焼却施設の廃止に伴い、現在は重油ボイラー（A重油を年間平均80,000L使用）で運営している
・重油ボイラーは法定耐用年数（20年）を超えて30年が経過（現在も稼働中）。プールは建替えではなく改修により今後20年以上使用する想定
・プールに隣接する平地（ごみ焼却施設の跡地）を、燃料の保管場所などに利用できる可能性がある
・市内に森林組合はあるが、他の発電所への供給もあり、必要な燃料を確保できるかは今後の確認が必要

⑥これまでの取組

・温水プールの熱源の転換として、木質バイオマスの活用の検討を開始

【お問合せ先】地域脱炭素中国地方版マッチングイベント事務局（備前グリーンエネルギー株式会社内）
E-mail：bge@bizen-greenenergy.co.jp　TEL：0869-63-3600